

「地域探究プログラム オリエンテーション合宿」(R4.8.3(水)～8.5(金))

2022  
8/3(水)～8/5(金)

# 探究のプロセスを 若狭で探し究める3日間 ～ 体験からはじめよう ～

全国高校生体験活動顕彰制度 地域探究プログラム  
**オリエンテーション合宿 in 若狭**

「地域探究プログラム」とは、宿泊を伴うオリエンテーション合宿で、ものごとを探究するプロセスを学びます。そのためにフィールドワーク先に向き地域に触れる中で、①課題設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現のプロセスを繰り返しながら、地域課題の解決に向けて主体的・協働的に取り組みます。カリキュラムの実施にあたっては施設が地域との橋渡し役となり特色ある事業を展開します。

対象：高校1～3年生 12名  
参加費：5,400円 内訳：食費 4,660円7食 保険代 253円 シーツ代 300円 雑費 187円  
申込フォーム： 締め切り 7/15(金) 17:00 べ切

◆ 目的

- 探究の過程において課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。
- 2泊3日で「課題設定」「情報収集」「整理分析」「まとめ・表現」の探究のプロセスを学ぶ。
- 職員は、高校生が「探究」を学び新たな社会の担い手として自身の可能性を伸ばすことを支援する。
- 自己の在り方や生き方を考えながら学ぶことができるよう、自然の家の特色を活かしたプログラムを提供する。

◆ 参加実績

高校1年生～3年生(15名)

1年生 5名 (男3名 女2名)

2年生 6名 (男5名 女1名)

3年生 4名 (男3名 女1名)



◆ 日程

8月3日(水)	8月4日(木)	8月5日(金)
ガイダンス	講義・演習②「課題解決の基礎」	講義・演習④「行動計画の基礎」
「地域づくり実践」 小浜観光局 御子柴 北斗氏 講義・町やステイ見学	FW②「地域の課題の研究」 情報収集 田烏水産・阿納民宿組合	発表② まとめ・表現 「行動計画」
FW①「地域の魅力を発見」 田烏水産・阿納民宿組合	演習③「地域課題の探究」 整理・分析	実践活動のためのガイダンス
講義・演習①「地域理解」 課題設定	発表① まとめ・表現 フィールドワーク先の課題解決に向けて	

## ◆成果

- ・ 最初のガイダンスでこの合宿の最終目標を参加者に示すことで見通しをもって主体的に取り組む姿勢が見られた。その結果、最終日の発表では、昨年度は到達させることができずに課題であった「行動計画」についても発表ができ、事業後に自分の地域で探究活動に取り組む際の見通しを持たせることができた。
- ・ フィールドワークに2回行き、1日目で立てた課題を解決するためにインタビュー等の情報収集をするという意図を参加者が理解し、取り組むことで「課題設定」「情報収集」「整理分析」「まとめ・表現」の探究のサイクルを回すことができ、探究のプロセスを学ぶというねらいに迫ることができた。



## ◆参加者の声

- ・ 体験することで、現場の実際の課題を探究するのは、すごく貴重な体験でした。探究の難しさを知れたし、課題に対する策も考えると次の課題になるという探究のプロセスを学びました。
- ・ 今回の経験を自分の探究の課題解決に向けて様々な視点から考えていきたいと思いました。
- ・ 今まで自分にはなかったことを学ぶことができ、探究において、サポートが充実していたので、課題に対して解決策を立てることができた。
- ・ 何回も人の前で発表することで、自分の考えを相手にわかりやすく伝える方法を学べたのがうれしかった。
- ・ フィールドワーク先に行き行って気づいたことや感じた魅力をグループで共有することで、いろいろな考え方や気づきがあることを知り、より深く探究することができました。



## ◆事業運営のツボ・工夫・反省

- ・ 若狭地域にある企業の実践者から地域とのつながりや、工夫していること、今抱えている課題といった話を聞くことで、参加者が意欲をもって取り組めた。
- ・ ファシリテーター（職員）が、講義・演習をどのような主旨で進めるのか、事前に共通理解を図ることで、全体で目指す方向性が明確になり、自信をもってファシリテートすることができた。
- ・ 3日間の最終の目標を事業の最初に示すことで、参加者が迷いなく取り組むことができた。
- ・ グループワークを取り入れることで、多面的な意見を引き出すことができ、参加者の新たな視点を持つことのきっかけとなった。
- ・ 参加者が、フィールドワーク先を事前に調べる活動を取り入れておくと、どんなところに行くのか、準備物は何かがあるかなど考える機会を与えられたと感じた。
- ・ まとめ・表現で今回は生徒自身がポイントを絞って話しやすいスケッチブックを用いた発表を取り入れたが、参加者の力量に応じて、パワーポイントなど個人に選択させてもよかった。

